



# つばさっ子

2016年

3月号



## 今月の行事



2日(水)	9:30(集合時間)	5歳児お別れ遠足
3日(木)		ひなまつり
5日(土)	9:00~11:00	うさぎ懇談会
10日(木)	18:00~20:00	ぞう懇談会
11日(金)	18:00~20:00	きりん懇談会
12日(土)	9:00~11:00	ぱんだ懇談会
18日(金)	10:00~	お誕生日会
19日(土)	13:30~15:30	卒園記念すもう大会
26日(土)	9:00~11:15	卒園を祝う会

### (保育協力をお願い)

できるだけ多くの職員で卒園児を見送り、新入園児を迎えたいので、当日仕事以外の方は家庭保育のご協力をお願いします。

3月26日(土) 卒園を祝う会

4月1日(金) 入園を祝う会

3月31日(木) 新年度準備

3月24日(木)は、全体職員会議です。早めのお迎えなどご協力をお願いします。

## 事務室からのお知らせ

「新年度の提出物についてのお知らせ」を後日配布します。内容をよく読み、提出期限を守って頂きますようお願いします。

配布物：新年度の提出物についてのお知らせ

- ①家庭状況調査票
- ②新年度の各家庭の保育時間の通知
- ③新年度のクラス日報と学校保険の集金袋

新年度の保育用品についてのアンケート用紙を配布します。  
(必要なものがあれば2日までにアンケート用紙を提出してください)

### 販売日

3月22日(火)・23日(水)

時間 16:00~18:00

つばさ事務室前(西浦商店)

### 【新年度 第一回クラス懇談会予定】

- 入園を祝う会に引き続き、ひよこ組懇談会 4/1(金)
- うさぎ組懇談会 4/9(土) 9:00~11:00
- りす組懇談会+試食会 4/16(土) 9:00~11:00
- きりん組懇談会+試食会 4/23(土) 9:00~11:00
- ぞう組懇談会 4/30(土) 9:00~11:00
- ぱんだ組懇談会+試食会 5/7(土) 9:00~11:00

## 今年度も職員を育てていただきありがとうございました

仲嶺 真弓

とうとう、2015年度つばさっ子の最終回となりました。この一年も子育てに仕事にほんとうにお疲れさまでした。そして、日々、子どものことを中心に職員と言葉を重ね、その中で職員を育てていただきありがとうございました。人は一人ひとり違っていい、違いがあるからこそいろんな角度から物事を考えられるのだと頭では理解していても、日々の生活の中では、子どものことを一番に考えて発した言葉がうまく表現できていなかったり、裏腹な態度をとってしまったりと、まだまだ未熟で、発達途上の職員です。けれど、子育てに仕事にと日々悪戦苦闘している保護者のサポーターでいたいという思いはどの職員ももっています。保護者の方からの投げかけは今後も真摯に受け止め、考えていきたいと思えます。

一年の要所で必ず振り返り、問い返すことを大切にしています。もちろん、この年度の終わりもそうです。それは、園が掲げている保育理念を、私たち職員はこの一年も大切に育んでいこうとする姿勢を持っていたかということです。保育理念については、保護者の方には入園時に必ずお渡ししているつばさ共同保育園のしおりに載せています。(また、ぜひゆっくり読み返していただければ嬉しいです。)

### “自己表現できる力を身につける” “一人ひとりを大切に” “人間関係づくり”

日々の保育で大切にしたいこと、子どもたちに伝えていきたいと思っていることを、子どもたちと関わる中でできていたのか。何よりも大人の私たちも大人同士の関わりの中でどれだけ実践できていたのか。そこが一番大切で、大人の私たちが何度も自分に問い返し続ける必要があると考えます。今年度はどうだったのかというその問いの答えは、各職員がしっかり、自分自身の振り返りをするのは勿論ですが、保護者が発信してくれる言葉の中にもその答えはあるように感じています。今月号のぞう組ページの保護者の振り返りを読んでそう思いました。ぜひ、どのクラスの方にも目を通してほしいと思えます。(今月号のぞう組ページはいつもよりページ数が多く編集する事務室も驚いたのですが、その答えが保護者のメッセージに書かれてあると思いそのまま載せることにしました。)この保育園で過ごす中でこそできること、保育園は子どもだけでなく大人も育つ保育園でありたいという考えはこれからも変わりません。子どもたちが安心して過ごせ、育むことができる場所をつくるのは、職員だけでも、保護者だけでも力は足りないと思えます。その両者の力が必要なのだと思えます。そしてそれは保育園を卒園した後も、子どもが育つ地域がどんな地域であってほしいかという地域づくりを考えることにも繋がります。子どものことを語り合い、大人の私たちも学び合いながら、これから作られていく新しいつばさが丘地域を共につくっていきける関係を紡いでいければと思います。



陽だまりのテラスで(ぞうぐみ)

## 今年も鬼が来ました

年に一回の厄払いの風習は、大切にしたい行事の1つです。今年も4匹の鬼（大阪体育大学学生3人+ 岩木前アトム園長）が、園内をまわり厄払いをしてくれました。0~5歳児それぞれの年齢や一人ひとりの子どもたちの状況も考慮して節分行事を企画しています。鬼さんにも前もってルート確認や見せ場（鬼だけで鬼踊りをする時間もあります）の説明もして鬼になりきってもらっています。卒園児に聞くと、記憶に残っている行事NO.1。他園を卒園した子の記憶では鬼と記念撮影して豆食べて…という話も聞きますが、鬼との記念撮影で子どもたちの心に何を残したいのだろうかと考え続けていきたいと思います。

2015年度の鬼さんに感想をいただきました。

- 昨年に引き続き鬼役をさせていただきました。子どもたちの泣く姿に罪悪感はありましたが、心を鬼にしてやりました。ありがとうございました。 雲田 崇弘
- 子どもたちを泣かす経験は新鮮でした。子どもにとって鬼という存在が心に残って良い子にもしてくれるよう、目一杯の鬼を演じさせていただきました。ありがとうございました。 東條 力也
- 初めて鬼をさせていただき、とても良い経験になりました。子どもが泣いていたので申し訳ない気持ちになりましたが、頑張っって演じました。また来年も来たいと思います。 長田 知也
- 今年も赤鬼で登場しました。鬼をこわがり、泣きわめく子、シラッとしていたけれど内心はどうなのだろうか？ そんな子どもの見るのがおもしろい！！ 「もう、わるいことしません！」とわめく子どもをみて、大人こそこんなふうに反省する鬼が必要ですね。 つばさが丘在住 岩木 陽子



**人形劇サークル「フレンズ」さん（熊取町内在住の方で構成されています）が来てくれました(2/12)。**

アトム職員、保護者でもある山階さんのお母さんがしておられるサークルです。メンバーの中には、つばさ共同保育園初年度の開園式典でオーボエ演奏をさせていただいた米山さんという方もおられ、お世話になった懐かしい方との再会も嬉しく、ありがたく思いました。

